

学会発表

| 標題 | 学会名 | 発表年月日 |
|--|-------------------------|-------------|
| CRCの同意補助説明を考える | 第17回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2017年9月2日 |
| 緑茶抽出物の肝臓に対する安全性:無作為化比較試験の系統的レビュー | 第280回疫学懇話会 | 2017年1月16日 |
| 治験業務で使用する電子システムの問題点 | 第16回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2016年9月19日 |
| 施設における実施体制整備の課題:外部支援機関からみた医師主導治験や臨床研究の現状 | 第13回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2013年9月15日 |
| 痛みの評価尺度のあり方を考える -評価におけるCRCの役割の重要性- | 第11回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2011年9月24日 |
| 線維筋痛症患者における痛みの評価尺度のあり方を考える -CRC から見た評価の重要性- | 第3回日本線維筋痛症学会 | 2011年9月10日 |
| CRCが担う臨床研究の役割:病識の乏しい被験者への対応 ~J-DOIT3の経験を通じて~ | 第10回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2010年10月1日 |
| 「臨床研究に関する倫理指針」が定める補償に対する認識の現状 -補償か?保証か?- | 第9回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2009年9月12日 |
| 「臨床研究に関する倫理指針」の観点から捉えた実際の臨床研究における問題点 | 第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 | 2008年10月10日 |
| RA疾患活動性の評価における新しい評価システムの構築について | 第20回日本臨床リウマチ学会総会 | 2005年11月4日 |
| 三重県における地域密着型SMOとしての取り組み | 第37回東海薬剤師学術大会 | 2004年12月5日 |

著作・訳書

CRCからみた疼痛薬治験の実施ポイント、痛みのメカニズムとこれからの治療薬・治療法の開発～治療へのニーズ・非臨床試験の適切な実施・エビデンスの得られる臨床試験デザイン～. P145-156, 技術情報協会, 2015.

e-ラーニングプログラム「線維筋痛症」. 財団法人日本リウマチ財団, 2008.

疾患活動性と治療の評価. 線維筋痛症ハンドブック. 88-96, 日本医事新報社, 東京, 2007.